

ふじえだ

市議会♡だより

題字：広幡中学校 3年 いけだ えりさん

タチアオイ
撮影：寺田 清さん



えいごであそぼう
～3枚取ったよ国旗カルタ～
撮影：高洲南幼稚園

Vol.
219

令和3年8月5日

4月臨時議会
開会議会
6月定例会議会

議長に植田裕明氏、副議長に岡村好男氏を選出

4月臨時議会が4月21日に開催され、新型コロナウイルス感染症対策に伴う子育て世帯生活支援特別給付金給付のための一般会計補正予算を原案のとおり可決しました。

5月17日に開催された市議会定例会開会議会では、定例会の会期を令和4年4月28日までの347日間としたほか、議長・副議長などの議会人事が決定しました。議長には植田裕明氏、副議長には、岡村好男氏が選出されました。

6月定例会議会は6月7日から6月29日までの23日間で開催され、一般会計補正予算など6議案、議員発議案2件が上程され、いずれも原案のとおり可決・適当とされました。

開会議会で決定した委員会の構成・役職などは次のとおりです。
(以下敬称略)

議長 植田裕明

副議長 岡村好男

監査委員 多田 晃

議会運営委員会

議会の円滑な運営のために協議し、意見調整を図ります。

委員長 山根 一

副委員長 遠藤久仁雄

委員

鈴木岳幸・平井 登・

山本信行・松寄周一・

小林和彦・大石信生・

藪崎幸裕

常任委員会

議案・請願などの審査を行います。

◆総務文教委員会

委員長 山本信行

副委員長 深津寧子

委員

川島美希子・多田 晃

鈴木岳幸・遠藤久仁雄・

油井和行・藪崎幸裕

◆健康福祉委員会

委員長 小林和彦

副委員長 増田克彦

委員

八木 勝・天野正孝・

松寄周一・山根 一・

石井通春

◆建設経済環境委員会

委員長 大石信生

副委員長 神戸好伸

委員

山川智己・平井 登・

岡村好男・大石保幸・

植田裕明

議会改革特別委員会

委員長 藪崎幸裕

副委員長 八木 勝

委員

増田克彦・神戸好伸・

小林和彦・石井通春・

大石保幸

市議会広報広聴委員会

委員長 油井和行

副委員長 川島美希子

委員

増田克彦・深津寧子・

神戸好伸・山本信行・

石井通春

市議会倫理委員会

委員長 大石保幸

副委員長 山川智己

委員

八木 勝・平井 登・

松寄周一・石井通春・

藪崎幸裕

志太広域事務組合議会

議員

遠藤久仁雄・松寄周一・

小林和彦・石井通春・

岡村好男・大石保幸・

植田裕明・藪崎幸裕

駿遠学園管理組合議会

議員

小林和彦・増田克彦

永年勤続表彰

市議会議員として市政の振興に尽力されたことに對し、全国市議会議長会表彰規程により次の方が表彰されました。

一般表彰（議員在籍15年以上）

岡村好男 議員

天野正孝 議員



正副議長あいさつ

コロナ禍という多難な局面にありますが、明けない夜はありません。ワクチン接種先進国が徐々に元の生活に戻りつつあるように、一日も早い終息を願っております。

本年度は第6次藤枝市総合計画が始まった年でもあります。通年議会を充分に活用し、一日も早く議決すべき事項が生じた時には、即座に議決し、市民生活に寄与できるスピード感ある議会をめざすなど、市民の皆様の付託に応えるべく、全力で取り組んでまいります。

副議長



岡村好男

議長



植田裕明

総務文教委員会

副委員長



深津寧子

委員長



山本信行

委員



鈴木岳幸

委員

委員



多田 晃

委員

委員



川島美希子

委員



藪崎幸裕



油井和行



遠藤久仁雄

健康福祉委員会

副委員長



増田克彦

委員長



小林和彦

委員



松崎周一

委員



天野正孝

委員



八木 勝

委員



石井通春

委員



山根 一

建設経済環境委員会

委員



平井 登

委員



山川智己

委員



大石保幸

副委員長



神戸好伸

委員



岡村好男

委員長



大石信生

委員



植田裕明

4月臨時議会・開会議会・ 6月定例月議会で審議された議案

◆出席した全議員が認めた議案◆

議案番号	議 案 名
第45号議案	令和3年度藤枝市一般会計補正予算（第2号）
第46号議案	監査委員の選任について
第47号議案	令和3年度藤枝市一般会計補正予算（第3号）
第48号議案	藤枝市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
第49号議案	藤枝市税条例の一部を改正する条例
第50号議案	藤枝市手数料徴収条例の一部を改正する条例
第51号議案	市有財産の取得について（消防団用消防ポンプ自動車（CD-1型）2台）
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議案第37号	国土交通省リニア中央新幹線有識者会議において流域住民の理解が得られる運営を求める意見書
発議案第38号	決算特別委員会の設置について

人 事 案 件

次の人事案件について、本議会は、同意・適当と認めました。

- ◆第46号議案 **監査委員** 多田 晃さん（大東町）
- ◆諮問第3号 **人権擁護委員** 岩堀 博志さん（高柳二）



可決された議員発議

6月定例月議会において、議員提出による発議案2件が提出され、原案のとおり可決しましたのでお知らせします。詳細はQRコードからご覧ください。



概 略



◆発議案第37号

国土交通省リニア中央新幹線有識者会議において流域住民の理解が得られる運営を求める意見書

◆発議案第38号

決算特別委員会の設置について

常任委員会審査レポート

ピックアップ！

総務文教委員会

第47号議案

令和3年度藤枝市一般会計補正予算（第3号）

デジタル活用サポート事業費 800万円

各地区交流センター等に、週1回、各種電子申請やワクチン予約、マイナンバーカードなど、オンライン手続きの支援を行うデジタル支援員を配置するもの。市民の利便性に寄与する必要な補正予算と判断し、可決すべきものと決定しました。

本会議
可決



健康福祉委員会

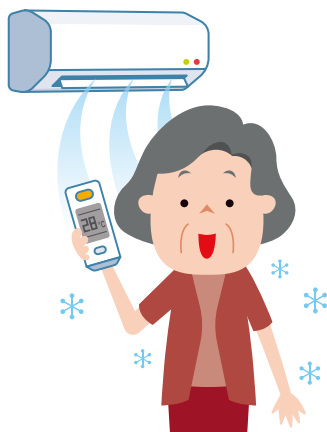
第47号議案

令和3年度藤枝市一般会計補正予算（第3号）

高齢者世帯等熱中症対策事業費 1,400万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今後も不要不急の外出自粛が求められる中、家庭内における熱中症を予防するため、市県民税非課税の高齢者世帯等を対象にエアコン設置費を補助するもの。市民の安全・安心に寄与する必要な補正予算と判断し、可決すべきものと決定しました。

本会議
可決



建設経済環境委員会

第47号議案

令和3年度藤枝市一般会計補正予算（第3号）

水防対策情報受信経費 900万円

台風シーズン前の河川水位・雨量観測システム強化のため、今年度設置予定の水位計3基、浸水センサー2基に加え、令和4年度以降に設置を予定していた水位計4基および浸水センサー4基を追加で整備するもの。市民の安全・安心に直接結びつく設備強化のための必要な補正予算と判断し、可決すべきものと決定しました。

本会議
可決



▲水位計



志太創生会

遠藤久仁雄 議員



ハンセン病から学ばねばならぬ 私たち藤枝市民

問 2022年は郷土出身の魂の俳人『村越化石』生誕100周年記念にあたる。現時点で市民にどのような働きかけを計画しているか伺う。

答 難病や差別という逆境の中にあっても、故郷を思い、生きることへの希望を失わず、生命の力強さを詠い続け、俳句界に多大な業績を残した化石氏を顕彰したい。具体的には、俳句大会を記念大会として内容を充実して開催するほか、文学館における顕彰展示、講演会の開催や広報誌への特集等、多くの市民の皆さまに郷土が誇る文学者『村越化石』氏を知っていただくような企画を検討している。

問 藤枝市出身で元ハンセン病患者であり、現在は語り部として活動を行っている『山内きみ江』さんからの要望をいただいている。山内さんご夫妻を収録した映画「凱歌（がいか）」が完成したが、これを是非本市で上映していただきたいという願いがあるが如何か。

答 人権侵害の過ちを二度と繰り返さない社会を築いていくためには、ハンセン病の負の歴史に目を向け、正しく継承していくことが必要と考える。本作品は、小中学生を始め多くの皆様に観ていただきたい映画であるので、BiVi藤枝の映画館「藤枝シネ・プレーゴ」にご協力いただき、一定期間の上映を検討している。ハンセン病への理解、人権意識・人権感覚を高め、差別のない社会づくりを進めたい。



玉露の里にある村越化石句碑「望郷の目覚む八十八夜かな」



市民クラブ

八木 勝 議員



中小・小規模事業者の SDGs 推進の支援について

問 本市として企業にどう推進し、どう支援・検証していくか伺う。

答 昨今、企業経営においても、SDGsの推進が企業評価につながり、雇用人材の確保や融資獲得にも影響することから、本市では事業者の持続力を高めるため、産学官で支援する取組を進めている。この体制のもと、商工会議所等の支援機関では、企業への啓発セミナーの開催とともに SDGs経営にチャレンジするモデル事業所に対し、専門家による課題や目標設定などをサポートする取組を始めており、経営を進める中で、さらなる支援が必要になる場合は、さらに踏み込んだサポートを行う体制を整えている。直面する課題の解決については、経営力の強化に向け伴走型支援を推進し、今後、モデル事業所の取組を広くPRしてSDGs経営を応援し、市内企業全体の持続力の強化につなげていく。



高齢者雇用の促進について

問 シルバー人材センターや地域社会の役割やあり方の変化をどのように捉え、対応するか伺う。

答 ボランティア活動などの社会参加、生涯学習などその活動ニーズは多様化しており、これらを充足するためにシルバー人材センターや地域活動の領域も広がるとともに、高齢者と社会をつなぐ役割として、ますますその重要性は増している。一方、地域社会を支える自治会・町内会やボランティア活動などは、主に退職後の高齢者層が担ってきたが、定年引上げの影響で担い手が不足していくことが考えられ、互助、共助により安心して暮らせる地域社会の維持が課題となっているため、現在全庁体制で持続可能な地域自治の仕組みづくりの検討会を設置し、地域が主体的に活動でき、多様な参画を得やすい環境づくりの検討を進めている。



藤新会

深津 寧子 議員



（仮称）クリーンセンターと附帯施設について

問 クリーンセンター建設の進捗状況について

答 静岡大学と藤枝フィールドの移転に係る造成工事を協議しながら進めている。施設本体の建設については、志太広域事務組合が5月に事業者を決定する入札公告を実施した。

問 クリーンセンター建設事業の今後の予定について

答 入札による提案事業者からヒアリングを行った上で、本年12月に最優秀提案事業者を選定し、来年3月の志太広域事務組合議会で契約事業者として決定する。

問 附帯施設計画の進捗について

答 具体的な計画は決まっていないが、地元の要望にできる限り応えとともに、地域振興に寄与し、広く利用できるものにしていく必要があり、引き続き地元と相談しながら検討していく。

教育委員の選考方法について

問 今後の選考方法の考え方について

答 次回以降の選考については、社会の変化に即応し、多様な専門性を持つ人材を幅広く候補者として選考することが可能となるよう、地区に関係なく市内全域から選考するよう検討している。



静大藤枝フィールド移転造成地



藤新会

山川 智己 議員



藤枝市の行政組織体制について

【スポーツ文化観光部の新設について】

問 今後、藤枝の市民生活を充実、向上させる取組について伺う。

答 スポーツや文化を総合的に観光戦略と連動させ、地域や産業の活性化、交流の拡大に結び付けていく。映画とタイアップしたシティプロモーションの展開や、総合運動公園への宿泊機能の立地検討を進めるなど、市民が我がまちに誇りを抱く取組を加速させていく。

【子ども未来応援局の新設について】

問 新設された目的に沿った対策や支援がなされているか伺う。

答 少子化対策と子どもの健やかな成長支援を包括的に推進するため、国の「こども庁」創設に先駆け、子育て施策と教育施策を連動させた新たな『藤枝モデル』を確立していく。発達に困難を抱える子どもへの細やかな支援や、制度のはざまにいる子どもの早期発見につなげ、幼保から大学まで一貫した支援ができる環境づくりを進めていく。

蓮華寺池公園について

【今後における運営・管理について】

問 今後、蓮華寺池公園をどのように運営・管理していくか伺う。

答 現在、本市の直営方式で管理・運営している。今後は、民間事業者の参入が予定されていることから、本市がイニシアチブを取り、市民共有の財産としての価値をさらに高め、周辺地域の活性化につながるような運営・管理に取り組んでいく。



ふれあいの水辺（蓮華寺池公園）



公明党

大石 保幸 議員



人口対策としての 奨学金返済支援制度について



問 奨学金の返済に苦しむ若者を支援する「奨学金返済支援制度」を実施している自治体がある。本市でも導入することは出来ないか。

答 若者のUターンと定住を促す取組として市独自の就職奨励金付き低金利奨学ローンの創設を計画しているが、返済支援制度も経済的負担を軽減させ地元定着につながるので導入を検討していく。

災害への対応等について

問 災害対策基本法が改正され「避難勧告」が廃止された。逃げ遅れを防ぐためにも市民への今後の周知・啓発に取り組まれないか。

答 6月から順次開催している地域防災連絡会において、避難情報発出時の確実な避難について強く働きかけ、全ての市民が確実・的確に行動し「逃げ遅れゼロ」を達成できるよう取り組んでいく。

問 牧之原市の竜巻被害の現場を訪問したが、電柱が折れたり傾いたりしていた。本市における無電柱化についての考えを伺う。

答 藤枝駅南口周辺での無電柱化を計画しており、災害に強く持続可能で景観にも配慮した都市空間を創造するため、本市ならではの無電柱化の推進を図っていく。



無電柱化された駅前地区内の通り



日本共産党

石井 通春 議員



自治体デジタル化にどう立ち向かうか ～個人情報保護の欠落、地方自治の侵害～

問 デジタルの活用は必要だが、菅内閣が目指すデジタル改革関連法は地方自治の根幹である住民向け独自サービスと個人情報保護の2点で軽視できない問題がある。各自治体がサービスを行うための独自ソフトが今後国が定める仕様に全国統一される。パソコンの仕組みが変わったという理由でサービス削減につながらないと明言できるか。

答 対応が難しい本市独自のサービスがあると判明した場合、システムを補完し質を確保する。

問 自治体間に支援範囲に差がある就学援助は7月に国の仕様に統一される。そのもとで、従来の基準（生活保護基準×1.5倍）を維持できるか。

答 仕様では基準を反映できるものとなっているので、サービス低下につながらないようにする。

問 自治体が持っている住民の個人情報、納税や所得、社会保障の受給など深くプライバシーにかかわるものであるから各自治体は個人情報保護条例を定めてきた。これを財界が儲けの手段として活用したいため、政治がそれに応えデジ

タル法成立で個人情報保護条例は廃止されることになった。現在確認できる下記3点を市民を守るべき視点で質問する。

A:匿名化された個人情報自治体から民間へ提供できるようになった。現段階で提供は政令市以外は任意。市は提供に応じるべきではない。

答 情報収集に努め提供について研究する。

問 提供があり得るという答えだ。市民から見れば匿名化されているとはいえ個人情報を無断で勝手に使うなというものではないのか。

答 今後、国が示すガイドラインを見て対応する。

問 B:将来、国が定める情報保護基準が現在の保護基準を下回るのは確実だが、現在と同等の基準の維持が必要ではないのか。

答 今後、国が示すガイドラインを見て対応する。

問 C:現在、市の条例で原則禁止となっている他の情報との連携（オンライン結合）が法成立で解禁になった。ガイドラインを見るまでもなく漏えいを防ぐ対応が必要ではないか。

答 今後、国が示すガイドラインを見て対応する。



市民クラブ

川島美希子 議員



不登校児童生徒に寄り添う支援を

問 1,000人あたりの不登校生徒の数は静岡県は全国で4位と多く、県は小学生10.5人、中学生45人（令和元年度）、本市は、小学生5.8人、中学生35.1人（令和元年度）、小学生8.8人、中学生40人（令和2年度）と増加傾向である。教育機会確保法で「学校復帰」から「社会的な自立」に目標が変わったが、とにかく学校復帰という対応は先生方に残ってはいないか？

答 文部科学省の通知に沿って、本市は個に応じた支援をしている。

問 学校以外で、出席扱いとなっている児童生徒が通う施設はあるか？

答 市の「藤の子教室」、県の施設、他フリースクールなど7カ所ある。

問 学校で使うタブレットは自宅学習、フリースクールで使用できるか？

答 登校していない生徒も目的やルールを遵守する範囲内で、ツールとして活用していく。

問 大分県の教育委員会のリーフレットは大変丁寧でわかりやすい内容だが、本市も不登校に特化したリーフレットを作るべきだと思うがいかがか？

答 現状、リーフレット配布等で情報提供を行うのではなく、その子の状況に合わせて施設など紹介している。

問 中学卒業後も継続的に切れ目のない支援を目指して行くべきでは？

答 就労に至るまでの支援を「子ども・若者支援協議」等で協議する。



大分県教育委員会
不登校児童生徒支援
プラン



志太創生会

増田 克彦 議員



水上地区の開発について

問 土地利用構想の現状は？

答 付加価値の高い都市機能や医療、健康増進機能などの立地誘導と、ICTなどの先端技術を取り入れた次世代の都市づくりを目指す。

問 地域住民への現状の告知と、意向調査・合意形成の計画は？

答 本年秋までに説明会・勉強会を開催し、議論を進めていく。



ドローン測量データによる
水上地区の描画

高齢者介護の現状と今後について

問 一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯への支援体制の現状は？

答 安心すこやかセンターの職員が定期的に巡回訪問し、支援が必要な場合はケアマネージャーや地区社協の役員などと協議し、支援を実施している。

問 介護による離職・転職の予防の取組は？

答 家族介護者の交流事業に取り組み、介護者の孤立化を防いでいる。また、医療・介護連携推進会議を開催し他職種との連携で介護者をサポートしている。

問 介護予防についての取組と展望は？

答 自主的に結成された介護予防グループ「ふじえだアクティブクラブ」の活動を支援している。本年3月末から藤枝市オリジナルの介護予防体操「藤ロコ体操」の動画配信を開始した。今後も介護予防活動を行う場の普及啓発を進めていく。



藤ロコ体操
～藤枝ロコモ
蹴っとばし体操～



日本共産党

大石 信生 議員



めざすべき学校給食のあり方について

問 学校給食センター（3カ所）は老朽化もあり「再編」に直面している。新たにめざすべき方向を議論したい。

〈美味しさをどう実現するか〉

旧岡部町の学校給食は小規模で、小さなカマでおかずなど調味料を加えながらしゃもじで攪拌して調理したので、赴任してきて初めて食べる先生がみんな驚きの声を上げたという実績がある。大きなカマで機械攪拌し、大量調理する大規模方式では出せない味で、この事実は、つぎの給食のあり方に生かすべきではないか。

答 大規模調理であっても、創意工夫と子供を思う気持ちで美味しさは保たれ、どちらも同じと考える。

問 大規模調理も手作り給食も味は変わらないとの答弁だが、立場上無理に答弁している感が深い。

〈地産地消をどう実現するか〉

旧岡部町では小規模だったために地元の食材をふんだんに使えたが、大規模センターでは地産地消はなかなか進んでいかないのが実態ではないか。

答 以前よりは地元食材の利用が増えている。給食センターの規模に関わりなく、条例に掲げた地産地消の推進に取り組んでいく。

問 しかし、現実に「藤枝市地産地消推進プラン」の「JAや生産者から直接給食センターへ納入する」や、「お茶の利用」などをはじめ、計画は何も実現していないではないか。本市より人口が10万人多い富士市では市内39校が自校方式で手作り給食であり、地産地消の品目が際立って多い。地元の食材を多く使うことで、大切な食育もそれにつれて充実する。本市は葉ネギとか三つ葉とか少量使う物以外に地産地消は実際には限界がある。地産地消や食育を実現するには今のような大規模センターからの転換が必要だ。

〈市民の意見を聞くべきではないか〉

どう「再編」するか、教育委員会は現在「白紙」で、コンサルタントに900万円で「基本構想・基本計画」を委託するというが、外部丸投げではないか。大規模センター方式を更に続けるのか、それとも美味しさ、地産地消、食育を実現できる小規模調理に転換するのか、委託前に市民の意見をまず聞くべきだ。

答 （繰り返しの追求に、やっと）市民の声を聞く。



中部学校給食センター



市民クラブ

鈴木 岳幸 議員



健康診断の受診控えについて

問 コロナ禍により、健康診断の受診者が昨年から減少しているが、市民の健康状態や市の財政に対する影響はないか何う。

答 健康診断を受けない事でがんなどの病気の早期発見、早期治療が遅れる事は、明らかに高いリスクと言える。また市の財政には、短期的には健診費用が減りコスト削減になるが、生活習慣病やがんの発見遅れによる医療費増大は、多大な悪影響を及ぼす事になる。

問 減少した健診受診者を増やす方法はどのように考えているか、受診率100%をぜひ目指してほしいがどうか何う。

答 昨年度はコロナ対策の為、受診人数を制限したり、例年5月からの健診を7月に遅らせたりするなどした為、受診者は大幅に減少したが、本年度は4月から開始しており、予約枠も大分埋まり受診者は増加している。今後は感染対策が万全であることをアピールし受診を促していく。健診受診100%を目指し、市内の中小企業等に対しても、従業員に健診を受診させるようお願いしていく。



年に1度は健康診断を受けましょう！



公明党

山本 信行 議員



藤枝市の道路・河川の整備について

【少子高齢化を見据えた対策を！】

問 葉梨川右岸、八幡橋から折戸橋区間の市道認定路線について伺う。

答 通学路であり今後、速やかに県と調整のうえ、対策を講じていく。

問 藤枝ならではの、地域自治の検討委員会について考えを伺う。

答 市が自治会・町内会に依頼している業務等の調査を行い、自治会長との意見交換により課題を整理し、負担軽減策を検討し来年度できるところから実行していく。自治会・町内会をはじめとする地域コミュニティが主体的・継続的に真に地域課題の解決に取り組むことができる仕組みを構築し、藤枝モデルとして市内外に発信していく。



社会的孤立防止について

問 障がい者やLGBTQ等、差別を許さない社会を構築する事が重要と考えるがパートナーシップ制度を含めた見解を伺う。

答 まずは、行政が同性カップルの関係を認めるパートナーシップ制度の導入や、庁内書式の性別欄廃止等できることから具体的な支援策の検討を実施する。障がいや性的指向及び性自認などにとらわれることなく、誰もが差別なく安心して暮らせるようにしていく。



藤新会

神戸 好伸 議員



GIGAスクール構想 家庭でのネット環境について

問 家庭に持ち帰り出来る「GIGAスクール」について、安全・安心にそしてネット環境の安定した、公平な環境の提供について。

答 現在、ネット環境について再調査を行っている。モバイルWi-Fiルーターの無償貸し出しを行うが、安定した光回線-Wi-Fiも環境改善の一つとして検討する。セキュリティは万全な対策を取ると同時に児童生徒・保護者にも情報モラル研修を行う。保守メンテナンス環境も整え、個別最適な学習活動に取り組めるよう万全な環境を整えていく。



タブレットを使った授業風景

野球場の維持管理業務について

問 総合運動公園野球場と市民グラウンドの野球場はそれぞれ野球の出来る環境を維持管理するというが・・・現状を問う。

答 野球場の「維持管理業務に係る仕様書」に基づき、施設担当課は指定管理者と伴に安全・安心かつ快適に施設を利用出来るように、グラウンド管理を行っている。常に安定した資質のグラウンドに維持管理をすることで野球ルールの下、青少年他利用者が健全に野球が出来るように、常に利用者目線で確認しながら危険箇所を取り除く努力をしていく。



野球練習に親しむ市民グループ



藤新会

松崎 周一 議員



行政のデジタル化推進について



問 行政のデジタル化をどのように進めていくのか。

答 本市も国と連動し、情報システムの標準化・共通化、行政手続のオンライン化等、一層の行政デジタル化を推進していく。

問 新設された「情報デジタル推進課」の事業概要について伺う。

答 「市民サービス」「まちづくり」「市役所業務」の3領域のデジタル化の推進に向けて、全庁の中心的な役割を担っていく。

問 民間から採用した「デジタル統括監」の活用について伺う。

答 本市の情報システムや業務の再構築の他、産業やまちづくりにおけるデジタル化の取り組みを担っていく。

問 本市のマイナンバーカードの普及状況について伺う。

答 5月末の交付率は35.1%で、県及び国の交付率を上回っている。

新型コロナウイルスワクチン接種について

問 接種クーポンの発送と接種申し込み状況について伺う。

答 65歳以上のクーポン発送は6月9日までに完了し、接種予約状況は現時点で65歳以上の方の74%が1回目を予約されている。

問 接種状況について伺う。

答 高齢者の接種率、1回目31.2%、2回目6.0%となっている。

問 事情によりワクチン接種が出来なかった人達への対応について伺う。

答 時期を考慮しつつ、高齢者の未接種者に再通知しフォローしていく。

問 タクシーによる移動支援状況について伺う。

答 6月15日現在で、993名の方が利用されている。



志太創生会

平井 登 議員



本市農業の成長産業化に向けての抜本的取組

問 「将来にわたって農地を誰が担っていくのか」「誰に農地を集積・集約化させていくのか」の将来方針を地域で決める『人・農地プランの実質化』作業に取り組まれているが、現在の取組地区と今後の取組予定地区を伺う。

答 現在は、平島、市之瀬、滝沢、大東町、大新島の5地区。今後は、南新屋、岡部町子持坂の2地区。そして本年度中に残る市内全域を対象に基礎的調査を実施し、実質化に向けた展開を図っていく。

問 この取組により、農業の成長産業化への基盤づくりが進み、他方で土地利用構想にも道筋がつくと期待するが見解は。

答 農業を戦略的に展開するエリアと都市的土地利用を図るエリアが明確になり、メリハリのあるまちづくりが前進すると思われる。

問 JA大井川の朝比奈、茶町、高岡の3支店が閉店した。令和5年3月末迄には、瀬戸谷、広幡、大洲の3支店も閉店予定である。いずれもコンパクト+ネットワークの拠点であるが、各地域発展のための跡地有効活用について、市長と組合長のトップ会談をお願いしたい。

答 支店跡地のポテンシャルは高いので、時代のニーズに即して各地域の利便性と活力が高められるよう意見交換や働き掛けを行う。





無会派

天野 正孝 議員



新型コロナウイルス対策について

問 感染に関する相談やワクチン接種環境づくりなどの必要人員をどのように確保したのか。
答 健康福祉部及び企画創生部の職員を増員して対応するとともに、集団接種会場の運営については、担当部署の職員と人材派遣会社の活用に加え、庁内全部署から毎日職員を動員している。

問 市内中小業者の業況に対するウィズコロナ、アフターコロナの地域経済の支援策を伺う。

答 商工会議所等とともに実施したアンケート調査や、約200社への企業訪問から明らかになった業種や事業者ごとに異なる実態や課題などに対し、業態の転換や他業種とのマッチング支援など、実効性のある個別支援策を投入するとともに、消費需要を高めるため、駅周辺での飲食店の共同販売所の開設等も進めていく。この計画は、藤枝駅周辺に人気食品を扱う20台以上の自動販売機による非接触型店舗の出店を7月に予定しているもので、市内飲食店の弁当などの共同販売場所として店舗の一部を提供していただくように協議を進めている。

問 医療関係者や感染者・家族への差別や誹謗中傷をしないよう地域住民の皆様に対する市としての啓発活動について伺う。

答 本市では、「藤枝市新型コロナウイルス感染症対処方針」に基づき、「正確な情報に基づく冷静な行動と人権尊重や個人情報保護の徹底、不当な差別や偏見を控えること」を市民に強くお願いし、人権尊重を発信してきた。併せて、すべての人々がそれぞれの暮らしの場で安心して生活できることを願う活動「シトラスリボンプロジェクト」の趣旨に賛同する市民活動団体や市民の活動への支援を行った。引き続き国・県等と連携した啓発活動を通じて、市民に正しい知識と情報をきめ細かく提供していくとともに、相談等にも適切に対応していく。

感染リスクを下げる会食方法 八か条

1. 飲酒を伴う会食をするなら、少しでも体調の悪い人は参加せず
2. 地元に一緒にいる方と少人数で(4人まで)
3. 適切に換気されているお店で
4. 1m以上距離を空けて斜向かいに座り
5. 箸やコップの使い回しはせずに
6. 会話や歌唱の際は双方マスクして
7. 適切な酒量で(飲みすぎ注意)
8. 短時間で楽しみましょう!

(※) フォイアスやマウス・シールドは感染防止効果のほどが不確か
 (※) 市役所では、感染防止対策として、マスクの着用を強く推奨しています。

応募作品コーナー



梅雨空に美しく咲く紫陽花を楽しむ
 ベルちゃんとエースくん (蓮華寺池公園)
 撮影：後藤 かりなさん



離れないでね (内瀬戸谷川)
 撮影：小長谷 充朗さん



冬の蓮華寺 (蓮華寺池公園)
 撮影：星野 順子さん

藤枝小学校 6 年生の社会科見学

～市役所の取組や市議会について学びました～

藤枝小学校 6 年生がクラスごと、5 月 25 日（火）と 6 月 3 日（木）社会科学習の一環として議会を見学に来てくれました。子どもたちが普段は座ることのできない議席に座り議場の雰囲気を体験する中、議長と広報広聴委員が、議会の役割や運営について分かりやすく説明をしました。



「静岡産業大学 冠講座」を開催！

～議員と大学生がグループワークで率直な意見を交わしました～



市では、包括連携協定を結ぶ静岡産業大学において、学生や市民に市政への理解と参画を進めることを目的に、職員等が講師を務める冠講座を毎年開講しています。講座全 14 回の 12 回目となる 7 月 5 日（月）に、議員が講師を務め、議長の基調講話のほか、広報広聴委員が“～開かれた市議会を目指して～市議会議員とともに未来の藤枝市を考える”をテーマにグループワークを行いました。グループワークでは、『思い描く未来のまち』と、それを『実現するための課題や問題点』、さらに『課題解決に向けた対策・取組』について話し合い、活発な意見が交わされました。学生からは「話し合うことで様々な気づきがあった」「これから取り組むべきことが明確に理解できた」との声がありました。

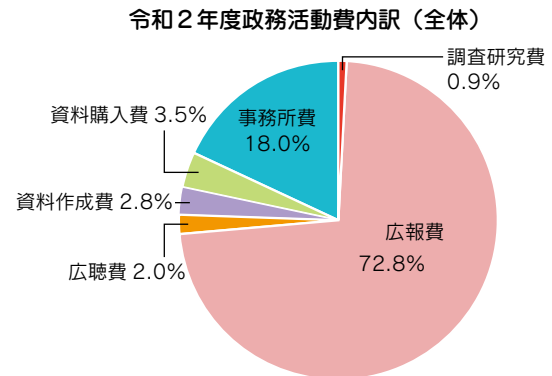
グループワークでの学生の率直な意見を今後の議会活動へ活かしていきます。



令和2年度 政務活動費

令和2年度政務活動費はこのように使われました。政務活動費とは、地方自治法の規定に基づき条例で定められており、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派及び会派に所属しない議員に対し交付される費用です。

藤枝市議会の政務活動費は、1人あたり年額300,000円であり、一括して年度当初に各会派（または議員）に交付され、残余がある場合は市に返還しています。



令和2年度 政務活動費科目別支出内訳

（単位：円）

	藤新会 (10人)	市民クラブ (4人)	志太創生会 (3人)	日本共産党 (2人)	公明党 (2人)	天野正孝議員	計
調査研究費	0	0	0	54,800	0	0	54,800
研修費	0	0	0	0	0	0	0
広報費	2,248,708	879,670	711,860	196,435	0	220,605	4,257,278
広聴費	0	0	0	114,918	0	0	114,918
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	41,800	26,570	14,160	56,250	6,960	17,810	163,550
資料購入費	12,540	0	0	75,460	114,510	0	202,510
人件費	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	454,459	198,241	154,718	112,385	130,681	0	1,050,484
計	2,757,507	1,104,481	880,738	610,248	252,151	238,415	5,843,540
実質交付額	2,757,507	1,104,481	880,738	600,000	252,151	238,415	5,833,292

議会は藤枝市議会 ホームページでも ご覧いただけます

藤枝市議会ホームページでは、本会議のライブ中継と録画放映を行っています。市民生活に直結した重要な問題の審議をぜひご覧ください。



【問い合わせ】議会事務局 ☎643-3552

9月定例月議会

9月定例月議会は、9月1日から9月29日までの29日間で開かれる予定です。

9月1日	本会議1日目（※）議案上程等
7日	本会議2日目（※）一般質問
8日	本会議3日目（※）一般質問
9日	本会議4日目（※）一般質問・議案質疑等
10日	現地審査
13日	常任委員会
14日	決算特別委員会
15日	決算特別委員会
16日	決算特別委員会
17日	決算特別委員会
29日	本会議5日目・採決等（※）



☆藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます。
※新型コロナウイルス感染症対策のため本会議場での傍聴の人数制限を行うことがありますのでご了承願います。



議会だより 表紙の写真・イラスト等募集！

市議会では、年4回（5月・8月・11月・2月）ふじえだ市議会だよりを発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「ふじえだ市議会だより」にするため、表紙の写真を集めます。

●募集する写真・イラスト等

- 写真の場合…市内で撮影された人物・四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真
- イラストの場合…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

●応募方法

住所・氏名・電話番号・写真の場合（撮影場所・撮影日時・タイトルを記入の上）、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

●応募の条件

- 写真の場合…市内で撮影されたもの。
- イラストの場合…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等
- 被写体が人物の場合又は個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人（未成年者の場合は保護者）又は、所有者の承諾を得てください。
- 採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ご応募いただいた写真は原則返却いたしませんので予めご了承ください。

●選考方法

市議会広報広聴委員会で決定し、掲載します。（発行時期の季節感も考慮し選考します。）

●応募の締め切り

11月5日号の締切⇒令和3年9月7日(火)

※詳細については、藤枝市議会ホームページをご覧ください
ただか、議会事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ

藤枝市議会事務局（市議会広報広聴委員会）

住 所：〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1

電 話：054-643-3552

メール：gikai@city.fujieda.shizuoka.jp



編集後記

藤枝市公式LINEやフェイスブック等、本市も情報発信がデジタル化しています。

「市議会だより」でも、議員の一般質問のQRコードは、スマホで写真を撮ることで、そのページに行くことが出来るのです。このように、わかりやすく丁寧に情報をお届けしていきます。

14ページには、小学生の議会見学や静岡産業大学冠講座の様子を掲載しています。このような機会を通して、私たち議員も学ばせていただいています。これから、皆様に議会の取り組みや活動を知っていただくことに、更なる努力をしてまいります。

広報広聴副委員長 川島 美希子

